



たてやま

議会だより



おつきみちゃかい
(みどりの森保育園)

お茶をいそぐ



No. 37
2010.11.1
発行/立山町議会
責任者/議長窪田一誠
編集/広報特別委員会

平成22年
9月定例会

常任委員会の審議	_____	2P
請願・陳情	_____	3P
一般質問	7名が登壇 _____	4P
NET3	_____	10P



就任ご挨拶

富山県町村議会議長会
会長 窪田 一 誠

この度、平成22年9月22日開催の富山県町村議会議長会の臨時総会におきまして、富山県町村議会議長会会長を仰せつかることとなり、この重責を痛感いたしております。

今日の地方自治体においては、地方分権改革の推進や地方税財源の充実強化など、多くの課題に直面いたしております。

さらに、経済環境の悪化や地域間格差が拡大しています。そういうなか、地域の実情に的確に対応するため、町村自らの創意工夫や住民との協働による地域活性化策が求められているものと存じます。

皆様方のご支援ご協力のもと、町村議会の活性化を図り、地方自治の確立と発展のため、誠心誠意努力して参りたいと存じます。

- 不採択**
- 第2号(賛成議員少数) 所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することを求める請願
提出者 新川民主商工会婦人部 部長 津田好子 反対討論 亀山 彰 賛成討論 後藤智文
 - 第3号(賛成議員少数) 地元中小企業者と雇用者の生活を安定させるためよりよい「中小企業憲章」を求める請願
提出者 富山県労働組合総連合

- 継続審議**
- 第5号(賛成議員少数) 転職・再就職の準備に必要な地域職業訓練センターの存続を求める請願
提出者 富山県労働組合総連合 議長 増川利博 賛成討論 後藤智文 賛成討論 石川孝一
 - 第6号 「歯科医療の充実を求める意見書」の議会採択にかかわる陳情

- 採択**
- 第10号(賛成議員多数) 新たな経済対策を求める意見書の提出について
1. デフレ脱却に向けて政府が毅然たる意思を示し、日本銀行との適切なつなぐ協力体制を構築すること。
2. 将来性ある農地集積事業、スクールユニーティール、地域医療などの事業に集中的に投資し、企業による雇用や設備投資を促進すること。
3. 来年度予算における公共事業費を維持・拡充

- 第11号(賛成議員全員) 米価下落への緊急対策を求める意見書の提出について
1. 平成22年度産米の販売価格が下落した場合には、戸別所得補償モデル対策の実施に必要な予算額を確保し、変動部分も含めて、農家の所得補償を確実にすること。
2. 変動部分の交付単価の算定に当たっては、産地及び品種銘柄による販売価格の変動の違いを考慮し、良質米を生産する農家が不利を被ることのないようにすること。
3. 固定部分、変動部分のそれぞれの交付金について、農家に対する支払時期をできる限り繰り上げること。
- 第12号(賛成議員全員) 地方分権に対応する地方議会の確立を求める意見書の提出について
1. 首長が議会を招集する現行の仕組みを改め、議

- 決算特別委員会の設置及び付託**
- 審議する内容
平成21年度立山町一般会計、立山町国民健康保険事業特別会計、立山町後期高齢者医療事業特別会計、立山町老人保健医療事業特別会計、立山町墓地公園事業特別会計、立山町地域開発事業特別会計、立山町農業集落排水事業特別会計及び平成21年度立山町水道事業会計の決算審査のため設置するものである。
- 委員長 村田 昭
副委員長 佐藤康弘
委員 石川孝一
町田信子
桑原米蔵
米田俊信

請願・陳情の審査結果

議員提出議案

総務教育常任委員会

財政調整基金7億3,700万円に

- 総務課
 - 財政調整基金積立金を3,000万円計上しているが、総計はいくらになるか。
 - 21年度末で7億6,000万円あり。3,000万円と利息分をあわせて、7億3,700万円計上しているが、庁舎外壁塗装改修に充てることができないか。
 - 庁舎の耐用年数は60年であり、あと15年くらいで庁舎そのものを建て替える時期が来る。その時の原資として積み立てている。
- 企画政策課
 - (仮称)元気創造館は、工期通り建設できるのか。
 - 現在、実施設計に取り組み、改めてスケジュールを確認している。平成24年3月までに完成、移転も終わる予定。
- 税務課
 - 土地鑑定委託をしたあと、来年度の評価に反映されるのか。

- 教育課
 - 中央小学校の改築に伴う水質調査について問う。
 - 小学校近辺の20軒ほどの井戸について水質調査をする。水質・地質調査も4箇所程度計画している。施工前・施工中・完成後も水質調査を実施する。
 - 中央小学校校舎・グラウンドはどの位置に建設・設置されるのか。
 - 校舎は現在のグラウンドの南側を想定し、既設の校舎跡にグラウンドを計画している。トラックについては1周200m、直線100mとれるようにしたい。
- 消防課
 - 消防施設整備事業の防火水槽分310万円を、一般財源から地方債にかえるのは。
 - 防火基盤整備事業で、工事費の75%を地方債で借り入れる。その内30%が交付税措置となるため、少しでも有利である地方債を計上した。



総務課

- 財政調整基金積立金を3,000万円計上しているが、総計はいくらになるか。
- 21年度末で7億6,000万円あり。3,000万円と利息分をあわせて、7億3,700万円計上しているが、庁舎外壁塗装改修に充てることができないか。
- 庁舎の耐用年数は60年であり、あと15年くらいで庁舎そのものを建て替える時期が来る。その時の原資として積み立てている。

企画政策課

- (仮称)元気創造館は、工期通り建設できるのか。
- 現在、実施設計に取り組み、改めてスケジュールを確認している。平成24年3月までに完成、移転も終わる予定。

税務課

- 土地鑑定委託をしたあと、来年度の評価に反映されるのか。

教育課

- 中央小学校の改築に伴う水質調査について問う。
- 小学校近辺の20軒ほどの井戸について水質調査をする。水質・地質調査も4箇所程度計画している。施工前・施工中・完成後も水質調査を実施する。
- 中央小学校校舎・グラウンドはどの位置に建設・設置されるのか。
- 校舎は現在のグラウンドの南側を想定し、既設の校舎跡にグラウンドを計画している。トラックについては1周200m、直線100mとれるようにしたい。

消防課

- 消防施設整備事業の防火水槽分310万円を、一般財源から地方債にかえるのは。
- 防火基盤整備事業で、工事費の75%を地方債で借り入れる。その内30%が交付税措置となるため、少しでも有利である地方債を計上した。

産業厚生常任委員会

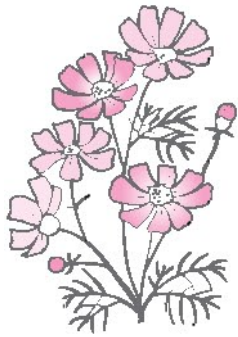
子どもたちが安心して利用できる公園遊具を整備

- 農林課
 - 森林境界明確化事業の、森林整備場所の決め方は。立山町には民有林が6,700ヘクタールある。富山県や森林組合と相談し、東谷地区から順次森林整備をしている。来年度以降に声掛地区の5ヘクタールを整備するに当たり、森林境界の明確化が必要であり、この事業を今年度行う。
- 建設課
 - 公園整備事業における公園遊具の更新内容は。前沢地区2ヶ所ほか計8ヶ所の公園にある遊具の、すべり台・ブランコ・鉄棒を更新する。ブランコの下には安全対策としてゴムマットを設置する。
- 健康福祉課
 - 中学3年生を対象とした子宮頸がんワクチンの接種の範囲は。平成22年度は、1277人を対象にしている。接種は1回当たり15,000円かかるが、その3分の2の10,000円を補助する。残り5,000円が個人負担となる。摂取率は

- 商工観光課
 - 室堂周辺案内板QRコード等の整備内容は。町と北信越運輸局とが合同で、新しい観光情報閲覧システムの実験を室堂で行うもの。将来的には他の場所にも範囲を広げて、観光客の増加につなげたい。



更新される公園遊具



一般質問

高嶋清光議員



(仮称)元気創造館の維持費
議員 建設後の財政負担・維持管理費は。

年間1億1,000万円

町長 事業費約19億円に対し、一般財源を除き、地方債(町の借金)9億円を借入れる。3年目までは利息分として年間1,300万円。4年目以後17年間は年約6,000万円償還する(利率1.5%)。施設管理費は、人件費を除いて年間5,000万円程度(年間約1億1,000万円必要)。

街のいきわい計画は

議員 地鉄立山線増客・街のいきわいを短期で終わるのではなく、長期将来に続く計画は。町長 積極的に活用するため取組む。検討・計画を策定する協議会を設置できるように考えている。



いのししのオリ

農林課長 町内建材に対する補助制度は考えていない。

地産地消の推進を
議員 町内産建材を利用した住宅建設には、県と同様補助金を。

考えていない
議員 町内産建材を利用した住宅建設には、県と同様補助金を。

検討委員会を設置
町長 企画政策課を中心とした関係各課による里山対策検討委員会を、今年度中に設置する。

里山対策は
議員 里山問題対策として、役場職員による対策室または対策チームの設置を。

知りたいことも 望むことも

9月定例会で行われた一般質問です。くわしくは、図書館や議会事務局に課事線があります。ホームページでもアクセスできます。<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

鳥獣対策がのぞまれる中山間地

町田信子議員



子宮頸がん対策は

議員 来年度以降の子宮頸がん対策の取り組みは。

一貫性のある予防対策で
町長 ワクチン接種は3回必要だが、接種間隔が定められている。今年度は2回分の接種費用3万円のうち2万円を助成する。残りの1回分は平成23年度に接種を行い、接種費用1万5千円のうち1万円を助成する予定である。

子どもたちの暑さ対策は
議員 「小・中学校の暑さ対策」は。



買物代行車

いへん喜ばれている。町は利用拡大につながるようPRに努めたい。

PRに努める
町長 買物代行制度の実態と利用促進を問う。

利用促進は
議員 町の買物代行制度の実態と利用促進を問う。

保護者への周知を図る
教育課長 学校では、熱中症対策として保護者への周知に、チラシや保健だより、学年便りや学校だよりなどを配布し、十分な水分の補給や着替え、手タオルや帽子の着用などを呼びかけている。扇風機の設置については、次年度以降学校メンテナンスプランに組み入れ検討していきたい。

後藤智文議員



熱中症対策に補助制度を

議員 低所得者に対して、エアコンの設置や修理代、さらに電気代への補助制度を。制度は考えていない

健康福祉課長補佐 生活保護世帯は、それらを給付費の中から利用できる。補助制度は考えていないが、熱中症対策は十分にする。

扇風機を全教室に
議員 学校にクーラー設置が望まれるが、せめて全教室に扇風機を。

次年度に組み入れる
教育課長 暑さ対策として扇風機は一部の小学校に設置されている。次年度のメンテナンスに組み入れ、暑さ対策を検討。

消雪装置問題の対策を問う
議員 立山地区は豪雪地帯。降雪は即、生活に直結する。各地区の消雪装置問題



消雪装置

- ① 宮路公民館前などの融雪水あふれ。
 - ② 宮路・岩崎寺地内消雪装置の水不足。
 - ③ 千垣地内の消雪装置稼働時の水あふれや凍結。
 - ④ 岩崎寺地内の大雪に対する消雪水の水はね対策工の効果向上。
 - ⑤ 横江地内に消雪装置の設置。降雪により道幅が狭くなる。
- 各地区に合わせた対応
建設課長 ① 道路横断側溝等排水対策は、今冬に状況を調査して検討。
② 井戸の掘削が必要だが、関係者の了解が得られず、今後も機械除雪で。
③ 今年度、側溝を深くして対応。今後も県土木と連絡を密に。
④ 地下水の送水量の調節などで、その運用を図る。
⑤ 機械除雪が基本なので装置の設置は財政的にも困難。道路が狭くなり危険な場合、通行の安全・安心のためにロータリー除雪車で道幅を拡張。

村井隆夫議員



提案理由の説明を問う

議員 町長提案の「役場をさらにスリム化する」とはどのような内容か。

職員の削減

町長 施設の複合化や民間委託をし、職員の定数について削減を図りたい。

いじめ、虐待は

議員 子供達へのいじめ、虐待はないか。

安心して学校生活を

教育長 冷やかしたり仲間はずれのいじめは小学校で9件、中学校で3件認知されているが、校長をリーダーに全教職員が一致協力して取り組んでいる。暴力的虐待は認められないが、児童生徒が安心して学校生活を送ることが出来るよう努めたい。相談の窓口は、健康福祉課、教育委員会、小中学校他。



放棄田

議員 放棄田と路肩の除草は、簡単に補助
農林課長 放棄田の除草について、人件費を除いた経費は町で補助している。草刈り機も有償で貸与している。路肩の除草は、来年度より全農家に対して、営農情報を通じて草刈の徹底をお願いしたい。

除草対策は

議員 放棄田と路肩の除草は、簡単に補助

放棄田

亀山 彰議員



高齢者の地域福祉計画は

議員 地域福祉計画がまだ策定されていないが、早急に策定すべきではないか。

早期策定に努める

町長 高齢者、障害者、児童の各分野におけるサービス提供の基盤とされている。そのため他の事業計画との兼ね合いもあり、「第九次立山町総合計画」をふまえて、早期策定に努めていく。

小学生の英語必須の対応は

議員 小学校間でバラつきはでないのか。町としてのサポート体制は。
教育長 外国語指導助手2名を各小学校に派遣し、学級担任との協力により授業を進めてきた。平成19年度末に外国語活動研究委員会を立ち上げ、全小学校の教員を対象に研修を続けてきた。模擬授業、公開授業に

よりよい授業を

よりよい授業を
教育長 外国語指導助手2名を各小学校に派遣し、学級担任との協力により授業を進めてきた。平成19年度末に外国語活動研究委員会を立ち上げ、全小学校の教員を対象に研修を続けてきた。模擬授業、公開授業に



今年度中に工事

商工観光課長 このルートは大切な登山道であり一日も早い復旧をお願いしている。但し、復旧のためには治山工事が必要であり、今年度中に測量調査と工事を発注する予定と聞いている。

今年度中に工事

今年度中に工事

伊東幸一議員



地域防災体制の推進

議員 土砂災害で孤立化の可能性のある集落は。

防災意識の高揚を図る

町長 立山、上段、東谷、釜ヶ淵各地区の、主に山沿い。議員 予防、応急対策の策定は。

建設業の支援について

議員 新分野進出に対する支援は。
議員 建設業新分野進出等支援補助事業・ベンチャー創業支援資金の活用など、積極的に。

自主防災組織の維持継続に対する支援について

議員 自主防災組織の維持継続に対する支援について。
町長 防災訓練を行う際の一部を補助し活動を支援する。

電気柵の推奨を

議員 イノシシの被害の状況と今後の対策は。
議員 捕獲隊員の経費の負担軽減を。
農林課長 被害は水稲面積2ha。今後の対策については、固定捕獲檻や移動捕獲檻を設置。また電気柵設置を推奨する。

有害鳥獣対策

議員 捕獲隊員の経費の負担軽減を。
農林課長 被害は水稲面積2ha。今後の対策については、固定捕獲檻や移動捕獲檻を設置。また電気柵設置を推奨する。



設置された電気柵(東峯地区)

石川孝一議員



「平成検地」の計画は

議員 「平成検地」に期待している。その内容は。

地積調査に備える

町長 「平成検地」とは地積調査のこと。山村地域では国の直轄事業の山村境界基本調査を活用し、将来の地積調査に備えたい。これにより、森林の境界がはっきりしないため遅延している森林整備事業の促進につなげたい。

音響設備改善を

議員 町民の音楽関係の発表の場である、町民会館の音響設備の改善を。

改善めざして努力

総務課長 音響設備は昨年度、機器の更新とアンプの増設をした。音楽演奏会の時には、移動式の反射板を使用し音響の向上に努めている。しかし、当大ホールは、県内他の専用ホールに

消火栓表示灯の設置は

議員 消火栓は地下式が多くなっている。消火栓の設置場所が分かり易い表示灯の設置を。

今後さらに性能を検討

消防署長 消火栓標識の夜間識別方法として、安価・耐久性・識別効果などを重視し、町内2ヶ所にLED照明を試験的に設置した。設置後付近の方の評判も良い。また、消防職員・団員の消火活動時、消火栓位置が早く確認できる。夜間の違法駐車対策にも効果が期待でき、今後推奨できるようにさらに性能を検討していく。



LED照明のついた標識

バスの運行は

議員 千垣―芦峠寺間のバスの運行について。
研究していく
住民環境課長 今後、芦峠寺集落や関係者と協議し、将来的にも持続できる公共交通について、研究していく。

登山道の復旧は

議員 称名平から大日平への登山道崩落について。
今年度中に工事

今年度中に工事

商工観光課長 このルートは大切な登山道であり一日も早い復旧をお願いしている。但し、復旧のためには治山工事が必要であり、今年度中に測量調査と工事を発注する予定と聞いている。



渓流温泉冠荘前にて(池田町志津原)

農業・環境まち

福井県今立郡池田町

来の人口動態的にもあまり良い要素はないが、元気で、将来に期待できる予感がした。なぜだろう?と考えたところ、「自分達のくらしは、自分達で」という考えで、役場職員も、住民も、「自分達で考え、実行に移す」ということを実践しているからではないかと感じた。

〈参加者〉
 委員長 坂井立郎
 副委員長 村井隆夫
 委員 石川孝一
 村田 昭
 米田 俊信
 高嶋 清光
 窪田 一誠

づくりは自分たちで

平成22年7月28日(水)

池田町では、自分達の手で「環境理想郷」をつくる為に野菜の「生産・販売・回収」に、いろいろ工夫をこらしている。そのひとつが、野菜の直売で「こっぴい屋」という店を、福井市のスーパー内につくり、生産をしたおばちゃん達が店頭に立って、消費者とコミュニケーションをしながら経営をしている。

もう一つは生ごみの回収である。約100人でつくるボランティア団体「環境Uフレンド」が、行政とは別に、自主的に堆肥を作り、土壌(ごんじょう)という名を付け、新しい作物の育みに役立てているのである。

池田町の高齢化率は福井県で最高の38.9%。人口は、現在の3,400人が平成32年には約2,000人になり、高齢化率は48.8%になると想定されている。

池田町は、地形的にも将

議会運営委員会

議会が身近に感じられるような紙面づくりに

東京都千代田区シエーンバツ八砂防 平成22年8月25日(水)~26日(木)

広報特別委員会は8月25・26日に、東京都で行われた「第72回町村議会広報研修会」に参加してきた。全国から議会広報にかかわっている議員や事務局員が528人も集まった。この2日間は3つの講義と議会広報クリニックスがあり、多くのことを学ぶことができた。

第1の講義は、「わかりやすい文章表現・表記」と題して、武庫川女子大学言語研究所長・同文学部教授の佐竹秀雄氏が話された。2つの点を述べておく。

1つは文章のわかりやすさの原理では、アリスン型の文とウナギ型の文ではどちらが読みやすいかと問われた。切れ目があるかないかで、あいまいさがない方が読み手によくわかるということだった。

2つ目は、最後に述べられたことで「自分の言いたいことを読み手にわかりやすく伝えるには、単に自分の言いたいことを言うだけでなく、読み手がその文章を読みながら、どのように思うか、どのように感じているかを推測しながら描く態度が必要である」とまとめられた。さて、私たちの議会広報はどうだったか。

第2の講義は、「読まれる広報紙のつくり方」情報社会のコミュニケーション」と題して、(株)ニューズ・ツー・ユー代表取締役社長の神原弥奈子氏が話された。この講義で時代が大きく変わっていること、インターネットの普及でブログ、携帯電話、ツイッターとどんどん進化していること。「ざかい便り」は独自の役割もあるが、ホームページに載せるなど、マスメディアと一体になって進めることが大事だと感じた。

議会広報クリニックスでは、全国の広報の中から15紙が取り上げられた。その15紙の中で気づいたことは、まず、表

広報特別委員会行政視察報告



砂防会館前

紙がカラーになっていて、広報紙は12紙あった。また、一般質問をした議員が1ページ以上を占めているのが12紙あった。さらに「です・ます」調の紙面があったり、28ページもの紙面を編集していたり、大変充実されていた。私たちもその中から一つずつでも学んで、町民にとって分かりやすく、議会が身近に感じられるような紙面づくりに生かしていかなければと強く思った。

〈参加者〉
 委員長 町田信子
 副委員長 後藤智文
 委員 亀山 彰
 佐藤 康弘
 伊東 幸一
 石川 孝一

環境と観光を両立させている上高地・高瀬川

長野県松本市・大町市 平成22年8月4日(水)~5日(木)

立山自然保護特別委員会では、北アルプス上高地と高瀬川谷での視察を実施した。「上高地」は国内有数の山岳観光リゾート地域であり、「立山」と同じようにマイカーの乗り入れ規制が行われ、観光と自然保護を両立させる取り組みを行っている。大正池や河童橋があり、槍・穂高連峰への登山口でもある。

上高地では、通年「マイカー規制」が実施され、平成16年からは、シーズンの混雑した時期の「観光バス乗り入れ規制」が行われている。

規制期間中は、観光バス客もマイカー客と同じように、シャトルバス(低公害車)に乗り換えし上高地へ入ることになっている。混雑するシーズン中に発生する交通渋滞が解消され、排気ガス、騒音、路肩破損など、さまざまな自然への負荷を軽減し、環境保全にも大きな効果が期待されているとのことだ。

2日目には、松本電気鉄道株式会社を訪問した。上高地のマイカー規制が実施されるなか、平成6年に全国に先駆けての低公害ハイブリッドバスを導入した経緯や、自然保護活動の取り組みについて話を伺った。

現在約80台のハイブリッドバスが運転されている。上高地から東京・京都・大阪への直通バスも運行し、利用客の増加につなげたいとのことだった。

次に、長野県大町市にある大町ダム、七倉ダム・高瀬ダムを視察した。一般車は自然保護のため、途中までしか乗り入れできない。ダムまでは、東京電力のマイクロバスで案内していただいた。

高瀬川流域に5つある発電所、最大134万kWの発電を行なっている。新高瀬川発電所は揚水式の発電所で、自然保護、自然景観に考慮し山中地下に建設された。

上高地、立山ともにマイカー規制、環境負荷低減バス(ハイブリッドバス)の運行は行っているが、上高地ではさらに「観光バスの乗り入れ規制」も行っている。自然保護について一歩踏み込んだ取り組みだと感じた。その反面、多方面への影響も考えられるなか、よく規制に踏みきったと思った。

自然保護をしっかりと行なっていく、観光客増につなげ

立山自然保護特別委員会



上高地 河童橋

るといことは難しい問題である。

私たちが先人から受け継いだ自然の宝をどのように有効に利用し、また、子供たちの世代へどのような形で引き継いでいけるのか。立山の自然を活かしていくために、さらに調査研究することが必要であると思った。

〈参加者〉
 委員長 村井隆夫
 副委員長 米田俊信
 委員 桑原米蔵
 坂井立郎
 村田 昭
 高嶋 清光
 窪田 一誠

滑川中新川地区 広域情報事務組合の概要

滑川中新川地区広域情報事務組合は、高度情報化社会的確に対応した行政情報サービスの提供、地域間の情報格差を是正する等の目的から、行政面で結び付きが強い滑川中新川地区において平成14年2月に設立した。

有線によって情報を送受信するためテレビ放送が電波障害や天候に左右されないこと、BS・CSの多チャンネル、地域に密着したニュースや行政の広報、緊急時の通信手段としての活用。インターネットにおいても定額料金で高速回線に常時接続できるということで、平成15年4月の開局時には44.2%の世帯加入率にてサービス開始。立山町での今年9月末の加入率は65.4%になっている。

今年度は自主放送コミュニティチャンネルのHD化（高解像度放送）整備に着手し、10月3日から美しい映像を放映している。

これに併せNet3エリアの議会中継も、12月からいよいよデジタル放送化される。

番組制作におきましては、昨年はCATV業界の優れた活動・作品に贈られる日本ケーブルテレビ大賞で「14歳の挑戦」を扱った作品が評価され、奨励賞を受賞している。

現在、事務組合は、平成23年3月末でサービスが終了するアナログ契約者に対し、サービス終了の告知と円滑なデジタル契約への移行に尽力している。



滑川中新川地区広域情報事務組合とは

組合を組織する市町は、滑川市、立山町、上市町

組合の共同処理事務

- ・ 構成市町のケーブルテレビ事業の推進に関すること
- ・ 構成市町の地域情報化の推進に関すること

組合の事務所は、滑川市開676番地 滑川市SOHOセンター内

組合の議会の議員の定数は10人

組合議員は、構成市町の議員のうちから選挙する

滑川市4人、立山町3人、上市町3人

故中川太一議員 追悼の言葉

中川太一議員の思いがけない逝去の報に接して、誰もが大変な驚きと悲しみの感を抱いたことと思います。ふり返れば、議論を交わしたありし日の中川さんの姿、3



月、6月町議会定例会で一般質問を行った元気な姿、さまざまなことを思い浮かべて感慨無量のものがあります。

中川さんは昭和27年10月28日、この地に誕生されました。昭和49年に立山町に奉職されて以来、平成20年3月に退職されるまで35年間、立山町行政の進展にご尽力をされました。熱心でまじめな

勤務ぶりは、他の模範であったと何っております。平成22年1月、立山町議会議員に見事当選され、常に誠心誠意町民の福祉と町の発展のために献身された姿勢は、町民の心の中に永遠に消えることなく生き続けることでありましょう。

百方手をつくされた療養、ご家族の真心こめた看護のかいもむなしく不帰の客となられましたことは、悲しみの極みでござ

ざいます。深くご遺族のご心中を拝察する次第であります。逝去の日まで、郷土立山町の将来を思い、57年余りの中川さんの生涯はまことに一筋の清流を思わせるものがあり、本町の未来にとり痛恨の極みであります。

今は亡き中川議員の御冥福を心からお祈り申し上げ、御遺族の皆様の前途に限りなき御加護を祈願いたします。

立山町議会議員一同

あしがき

2回目の広報委員会所属となり、議会日よりNo.35から、写真を担当しています。わかりやすく、親しみのある議会日より写真には欠かせません。表紙を飾る写真撮影には各保育所の配慮も頂き、行事に加えていただくこともあります。一般質問の紙面は限られています。コンパクトな文章の中には、各議員の町政に対する意気込み、見方が凝縮されています。一枚の写真でその理解が一層深まれば幸いです。

これからも親しみの持てる議会日よりなるよう努めます。議会に対するご意見や、議会だよりの感想、また、ご要望をお待ちしています。

(石川記)

議会広報特別委員会

委員長 町田信子
副委員長 後藤智文
委員 亀山 彰
佐藤 康弘
伊東 幸一
石川 孝一



議場の花

提供
雄山家政専修学校
(吉本澄子校長)

議会や議会だよりについてのみなさんご意見・ご感想は

立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局

〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440

ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会議録] もご覧ください。